

## 令和5年度備前県民局地域づくり支援事業 最終報告

実施団体：I P U環太平洋大学

次世代教育学部教育経営学科

担当課：備前県民局地域づくり推進課

### <事業名> スクールフェス

#### <事業概要・各主体の役割>

##### (事業概要)

本学次世代教育学部教育経営学科の1年生を主体として、旧和気小学校（廃校）で和気町内の小学3、4年生に対し「夢の授業」を行うプロジェクトを実施しました。大学生は約半年をかけて授業を準備し、教員という夢に向けて初めて先生になるという経験を行い、また教育経営学科の4年生と和気閑谷高校の学生が協力し授業を行う事も実施しました。

さらに廃校の活用についても学生たちが考え、地域の方々が利用しやすくする為の工夫を和気町社会教育課と共に検討しました。

##### (各主体の役割)

- ・実施団体：事業の企画・実施、事業報告書の作成
- ・担当課：事業企画協力、補助金交付、広報協力

#### <実施状況>

##### (1) 4月から7月にかけて授業作りを学びました

- ・4月10日 キックオフ スクールフェスについて説明など
- ・4月17日 授業、先生について考える
- ・5月8日 映画「夢みる小学校」鑑賞
- ・5月15日、22日 授業案を考えるための授業（外部講師 向先生）



- ・5月29日、6月5日 小学校見学事前講座
- ・6月12日 小学校授業見学  
(和気町立佐伯小学校、和気小学校、本庄小学校)



- ・ 6月19日、26日 授業トピックを考える
- ・ 7月3日、10日、17日 授業指導案を学ぶ
- ・ 7月27日 授業指導案の発表、提出

## (2) 9月からは3週間、模擬授業を行いました

- ・ 8教室に分かれ、模擬授業をお互いに行いました
- ・ 大学4年生（教員採用試験後）が和気閑谷高校へ9月22日、10月6日、20日赴き、高校1年生と一緒に授業作りを行いました

## (3) スクールフェス本番

- ・ 10月23日 前日準備
- ・ 10月24日 スクールフェス当日

10月23日に準備を行い、24日にスクールフェス本番を迎えました

当日はスクールフェス実行委員が中心となり、運営を行いました。授業のタイトルは添付チラシをご確認いただければと思います。30種類の物作り系、運動系、座学系の授業を児童たちには3時間（1コマ40分）ずつ受講してもらいました。最も気をつけたのが安全に授業を受けてもらう事。全員で注意した甲斐もあり、怪我人を出す事なく終えることができました。

高校生からは「これまでリーダーシップを発揮しても、なかなか周りがついてきてくれず、リーダーシップを発揮すること、頑張ることを諦めかけていたが、スクールフェスを経験し、もう一度頑張ってみようと思う」と感想をもらい、充実した様子でした。大学生からは「まず児童たちが喜んで取り組んでくれたり、楽しかったと言ってもらえることができてすごく良かったと思う。ただ、実際に想定していたよりも時間がかかってしまうことや、逆に時間がかからなかったことなどもあってそこは難しかった。自分たちの授業目当てである、身近なもので工夫して楽しむ、という点については達成することができたのではないかなと思う。」などの感想が寄せられました。

廃校を活用することにより、施設の掃除や、使用できないトイレがあるなど注意が必要な部分があり、手間が掛かる場所もありましたが、この先の教育を考える中で、学校を存続させていく事の大切さ、また廃校だから準備できた自由な授業もあったのではと思います。

当日は大きなトラブルはありませんでしたが、大型バスが乗り入れできない関係で、

児童の送迎に想定よりも時間がかかってしまいました。

次年度以降もやるのであれば、送迎を含めたさらに細かな計画、また授業をさらにブラッシュアップして行う計画を検討したいと思います。



#### (4) 地域課題解決ワーク

- ・ 11月6日、13日 地域課題探求

和気町社会教育課長にお越しいただき、地域課題、廃校活用についても考え、発表を行いました。小学校を水族館や宿泊施設にするといったスケールの大きなものから、小学校に本屋さんとカフェを作りたいといった地域課題に寄り添ったものなど様々な発表が行われました。その発表をヒントに、地域の方々に安全に使用していただくためのメッセージをボードにして、地域の方々に利用してもらいやすく工夫しました。

- ・ 1月31日ボード設置

設置後、グラウンドで放課後遊ぶ学生の姿がありました。(2月某日)



#### <成果・効果>

実施団体：

地域にある大学として、地域の課題解決に向けて考え、実施できた事は今後の地域連携、廃校活用に繋がっていくと感じました。

#### 【廃校活用】

スクールフェスを行うにあたり、地域の方々に理解をいただき、旧小学校だけでなく、旧幼稚園、地区公民館をお借りし実施しました。廃校を活用することによって更なる活用のアイデア（和気クラブによる吹奏楽教室の実施）などが生まれました。

#### 【世代間交流の促進】

スクールフェスで授業を行った学生が、その後和気町でのボランティア活動に参加するようになり、児童、保護者との触れ合いも促進できました。

### 【教員志望者の意欲向上】

大学1年時は通常実習はありませんが、このスクールフェスに参加した大学生111人にアンケートを行い、スクールフェスを行って、教員志望が強まった、変わらない、教員志望が弱まった、その他（教員志望ではない）の4択で聞いた問いには、

- ・教員志望が強まった 66人 (59.5%)
- ・変わらない 32人 (28.8%)
- ・教員志望が弱まった 1人 (0.9%)
- ・その他 12人 (10.8%)

という回答を得られ、多くの学生の教員志望が強くなる結果となりました。

### 【大学と地域との交流機会の創出】

地域と大学の連携がこのスクールフェスをきっかけに広がり、今年度、学童陸上記録会、新体力テスト、小学校主体イベント協力など新たな取り組みが生まれました。

和気閑谷高校の学生も、短期間での授業作りになったが、大学4年生のサポートの中で実施し、充実した授業を展開できていました。

教育委員会をはじめとする、教育関係の方々が当日も見学に来てくださり、見守っていただきました。

### 【夢育の推進】

参加してくれた児童からは、〇〇の授業が楽しかった。〇〇が難しかったなど授業に関する感想や、いろんな学校の児童と授業を受けて楽しかったなど、全体を通しての感想が寄せられました。

また教師を目指している学生が楽しそうに授業を行う姿は、児童達の夢育にも繋がったのではと考えます。

参加していただいた小学校の教員、和気町教育委員会からは、「子どもが楽しめることを第一に考えた授業づくりであったと思います。どの授業も子どもたちの笑顔があふれ、指導に当たった学生さんも一生懸命にがんばっている姿が見られ、とても充実した気持ちで見せていただきました。」「お忙しい中、和気町の子どもたちのために行事の実施や計画をしてくださりありがとうございます。行事を通して学んだことがたくさんあるとは思いますが、みなさんが教育に対して前向きに頑張る姿に心を打たれました。正直な話、岡山県のみならず日本の教員志願者は激減しています。その中でも、対応力の必要な質の高い教育が求められています。教員を志す皆さんは、我々の現役教員の宝です。未来への希望を忘れず、どんどん新しい取り組みに挑戦してってください。」などのお言葉をいただきました。

担当課：

スクールフェス当日は、担当課も見学させていただきました。大学1年生や高校生とは思えないほど堂々とした振る舞いで、授業も小学生が楽しく学ぶことのできる内容

でした。実際に、参加した小学生が楽しそうに学ぶ姿や、先生役の大学生・高校生、他校の生徒とも交流する姿が印象的で、スクールフェスが世代や学校の垣根を越えた交流の機会を創出できていた点は一定の効果があったと考えます。

また、スクールフェスをきっかけに、地域と大学が連携する新規の取組や、地域にボランティアとして溶け込む生徒が出てきたと聞いており、地域にとってもプラスの効果が出始めていると思います。

廃校活用の観点からも、次世代を担う大学生・高校生・小学生が実際に廃校を舞台に交流することで、活用方法を考える良い機会になったのではないのでしょうか。

## <課題・今後の方向性>

### (課題)

実施団体：

この事業を実施するにあたって、地域の教育委員会、小学校の理解と協力が不可欠です。普段からコミュニケーションをとり、お互いを良い意味で利用して頂けることが、このスクールフェスだけでなく、関係作りに必要だと感じました。

交流をするには移動が伴いますので、本学のバスを使用したり、町のバスを利用したりがスムーズに出来るとさらに交流が広がると思いますので、大学は大学内への理解を求め、さらなる地域連携の大切さを訴えたいと思います。

また廃校は使用しなければどんどん劣化して行きます。引き続き大学としても活動を続けていく事と、地元の方々の活動の場としていくことが必要だと思います。このスクールフェスの活動を知ってもらい、興味がある自治体、教育委員会があれば、廃校活用など協議を行っていけば、次のステージが見えてくると思います。

担当課：

スクールフェスは良い取組だと思いますが、実施に向けて教育委員会など関係機関との調整や準備、場所の選定などをどのように克服していくかが課題であると考えますので、和気町以外の市町での開催や本事業の情報提供など、実施ノウハウの横展開を検討いただければと思います。

廃校活用について、本事業では学生自身がスクールフェスを通して感じた廃校の在り方や、和気町社会教育課からの講義で学んだことを踏まえて看板制作（地域住民などに廃校を気軽に使ってもらうためのもの）に至ったと認識しておりますが、今後は地域住民のニーズも取り入れる必要があると思います。地域住民のニーズをどのように取り入れ、活用に反映していくかも重要だと考えます。

### (今後の方向性)

実施団体：

今回繋がりを持った和気町との関係を継続しながら、学生の学びに必要な現場を知るための実習を近隣の地域と連携しながら、さらに増やしていきたいと思います。来年度もこのスクールフェスを実施する予定で検討して参ります。そして地域課題解決に向けて、学生達のアイデアを毎年少しずつですが、形にしていきたいと思います。実施エ

リアに関しては和気町での実施を中心に、スクールフェスの広報をしていき、興味を持っていただける教育委員会と協議できればと思います。

担当課：

スクールフェスを通して、廃校が活用される、世代を超えた交流が増える、教員への志がさらに高くなった生徒が一定数いる、といったプラスの効果が生まれており、廃校活用策として先駆的な事例であると思います。次年度も同様の取組を開催予定のことですが、和気町に限らず他の市町でも展開されることを期待しております。横展開にあたり、まずは当該事業を知ってもらうことが必要ですが、備前県民局としても周知に協力したいと存じます。

また、廃校を舞台に大学生や小学生が交流する機会ですので、次年度のスクールフェスでは、地域住民も招き、全員で一緒に廃校の有効活用について考える時間があっても良いのではと考えます。

※ チラシ、パンフレット等の作成物がありましたら、1部添付してください。

令和5年度 備前県民局地域づくり支援事業

先生

- ・ IPU・環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科 学生
- ・ 和気閑谷高等学校 高校生



児童

- 佐伯小学校、和気小学校、本荘小学校の3、4年生

# IPU スクール フェス

ダンス

宝探し

アート

実験

スポーツ

クイズ

10/24 (火)

9:00~11:50

場所：旧和気小学校、旧和気幼稚園、和気地区公民館

## タイムスケジュール

09:00~	旧和気小学校集合、全校朝礼
09:15~09:55	1 時間目
09:55~10:05	移動、休み時間
10:05~10:45	2 時間目
10:45~10:55	移動、休み時間
10:55~11:35	3 時間目
11:35~11:40	移動
11:40~11:50	一斉下校



## 持ちもの

- 水筒
- 探検バッグ
- 筆記用具
- タオル
- 上ばき



## 服そう

- ・ たいそう服
- ・ 赤白帽子

共催 岡山県備前県民局



# 手首につけたリストバンドと 同じ色の授業を受けよう！



	1 時間目	2 時間目	3 時間目
1年生教室	Hグループ 紙を使って高いタワーを作ろう	Fグループ ~秘密の暗号を解き隠された暗号をGETせよ~	Eグループ まぜたらどうなる？
2年生教室	Iグループ われないシャボン玉!?	Bグループ 好きなスライムを作ろう	Hグループ わくわくサイエンス!!
理科室	Gグループ 氷の花を咲かせよう	Cグループ スノードームを作ろう	Fグループ バスボムを作ってみよう
5年生教室	Jグループ 私まだ使えるよ♡	Aグループ 個性爆発！冬作り！シンシン！	Bグループ 規則性発見クイズ
6年生教室	Bグループ 和気あいあい協力ゲーム	Jグループ 最強の家を作ろう！	Dグループ 水の力でインクを分解!?
視聴覚室	Eグループ 世界で一つだけのまんげきょうを作ろう	Dグループ これって野菜？くだもの？	Jグループ 見たことない景色
体育館 A	Cグループ Hop Step Jump	Iグループ 体の一部を使って自分を表現しよう	Aグループ 力を合わせて勝利を目指せ
体育館 B	Dグループ オリンピックリレー		Gグループ 走ってビンゴ
幼稚園	Fグループ ダンシング鬼ごっこ	Gグループ 大きなシャボン玉みんなで作ろう	Cグループ 最強の紙ひこうき
地区公民館	Aグループ ペットボトルロケットを飛ばそう！	Hグループ クイズストライク	Iグループ クイズに答えてゴールしよう
グラウンド		Eグループ ボール鬼ごっこをしよう (雨天のとき体育館 B)	

